

1. 授業のねらい・概要

きわめて広い概念を持つ金融・ファイナンスの知識を、主に金融実務の面からわかりやすく説明する。

これから経済学や経営学あるいは会計学を学ぶ者にとって、金融・ファイナンスの基礎知識は必須のものである。なぜなら、世の中で行われている経済活動（モノやサービスの取引や、情報や人の移動など）は、すべてお金の流れと表裏一体であるからである。しかし、金融・ファイナンスに対する一般的なイメージは、残念ながら、数学や数式を多用する抽象的でわかりにくいというものである。この授業では、こうしたイメージが根強いことを念頭におき、難解な数学や数式はできる限り使わずに、具体的な事象を紹介しながら平易な説明をしていきたい。

2. 授業の進め方

テキストを使いながら金融・ファイナンスに関する基本的な考え方について説明することを原則とする。

なお、必要に応じて、新聞・雑誌の記事などから具体的な出来事を取り上げて実践的で実用的な説明も行う。

3. 授業計画

1. ファイナンスとは	8. 短期金融市場
2. お金とは何か	9. 資本市場と証券会社の業務
3. 貨幣の機能	10. デリバティブ取引とその影響
4. 貨幣の歴史	11. マネースtockと金融政策
5. 銀行の信用創造と通貨制度	12. 中央銀行と金融政策
6. 金融取引と金融機関	13. 日本の金融と政策の歴史
7. 金融商品	14. 日本の金融自由化
	15. まとめと復習

4. 到達目標

実際の経済・社会の仕組みやあり方を理解するうえで、金融・ファイナンスの知識がいかに重要であるのかを理解することを目標とする。

5. 準備学修に必要な時間、またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を必ず復習して、疑問点などを明確にしておくことが望ましい。

6. 成績評価の方法・基準

①授業への取り組み姿勢（評価に占める割合：30%）、②課題等に対する内容（評価に占める割合：20%）、③定期試験の結果（評価に占める割合：50%）によって、評価する。

7. テキスト・参考文献

テキストは、授業開始時まで指定するので毎回の授業に必ず持参すること。また、参考文献は適宜紹介する。

8. 受講上の留意事項

受講の要件は特に定めない。

疑問や不明な点については、遠慮なく質問してもらいたい。